

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	千葉小倉の運営理念「ご利用者様の安全安心の確保・ご利用者様の個々のケアを大切にする・サービスの質の向上」を掲げている。	常に基本を忘れず、また利用者の個々の思いをくみ取りケア出来るよう努めていく。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	申し送りの際、必ず理念の唱和をすると共にユニット会議・スタッフ会議は理念に基づいた話し合いが行なわれている。	ご家族様やご利用者様より行きたい所、思い出の場所を聞き個々の外出を実施している。またこの内容については1年計画で行なっている。スタッフはその人に合わせた研修を月に1回参加し内容を会議の時に共有している。全スタッフが救命講習会の参加に努めている。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族会や運営推進会議を通して、ホーム内の事故報告、又それらについての対応やご家族様からの意見をまとめている。その他行事等の報告、参加をして頂く事で理念のご理解をして頂くよう努めている。	地域の行事等の参加に努めていく。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	ホームの隣の方から花の苗を頂いたり、庭の手入れの仕方などを教えていただいたり、入居者様と散歩の時などは声をかけ合うように努めている。	ホームの入り口に花壇を造った事で手入れをしていると声を掛けてくれる機会が増えてきた。今後も気軽に立ち寄って頂けるような環境づくりや交流に努めていきたい。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内の新年会などに入居者様と参加。夏祭りなどは、ホーム全体で毎年参加している。近隣に小学校が総合学習で訪問されたり中学校の職場体験など毎年ホームを利用している。	認知症サポーターの取り組みを予定している。ホームの中だけではなく地域の一員として行事等の参加の機会を増やしていく。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	電話や見学等で介護の事で相談があった場合は介護相談を承っている。		老老介護されている方の悩みを在宅のケアマネージャーに相談したりして努めている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価を実施する意義を理解し、スタッフ会議の中で話し合いを持っている。		自己評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的は改善に取り組んでいけるよう努力していく。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行事・事故報告・それに対するの対策、ホームの取り組みなど報告し参加されている方と意見交換を行っている。		市町村担当者等の参加に努めていきたい。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	主に管理者・マネージャーが足を運び担当者様との話し合いを行いサービスの質の向上に取り組んでいる。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在、該当者がいない為話し合いや学ぶ機会を設けていない。		今後はふまえ勉強会や外部の研修を設け学ぶ機会を作る。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	千葉市の身体拘束基礎研修に参加しスタッフにも参加を努め、日々虐待が見過ごされぬよう防止に努める。		スタッフ会議などで話し合いをもうけている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を实践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>ご家族様との面談の機会を十分にとり、重要事項説明書を読み合わせし、わからない点などないよう十分理解の上で契約を結んでいる。</p>		<p>ホームの取り組みについても説明し、理解を得ている。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>管理者が常に入居者様とコミュニケーションをはかり、スタッフからも情報収集し運営推進会議などで報告している。</p>		<p>入居者様の不安や訴えに対しユニット会議・スタッフ会議などで話し合いをし、毎月が穏やかな生活が出来るよう努めている。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月担当スタッフからのコメント・ケアマネよりサービス提供に関するお知らせの中で日々の生活について報告している。金銭管理については、毎月お小遣い帳の確認をして頂いている。</p>		<p>面会時に日々の様子を報告している。またスタッフが同じ内容をご家族様に報告しないよう家族ノートを作り記録し全スタッフが把握するようにしている。金銭管理については、毎月ご家族様に確認して頂いている。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議では、事前に日時を報告し参加して頂いている。またその中で意見交換の時間を設けている。</p>		<p>運営推進会議では外部者への参加が少ない為、参加に努めていく。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>スタッフ会議・ユニット会議を毎月行い一人一人の意見や提案を聞く機会を設けている。</p>		<p>管理者が個々に話す時間を設けている。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>急変時、ホーム長・リーダーに相談してもらい柔軟な対応が出来るよう調整している。</p>		<p>外食や入浴、受診などご家族様の協力も頂いている。</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動や離職を伝える際は、各入居者様に応じ影響が少ないよう配慮している。</p>		<p>スタッフが異動する場合、ご入居者様とその環境に合わせた配置を考えている。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スタッフの段階の応じて研修を受ける機会をもうけている。		研修報告書を通してホームの勉強会にも努めている。
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修に参加する事により地域の同業者と交流を深め、研修生の受け入れなどの活動の取り組みをしている。		管理者が外部の研修に参加し、交流をもつことによって勉強会・相互訪問等の活動を予定している。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	本部に苦情窓口が設置されている。管理者が個別にスタッフと話す時間を作るようにしている。		仕事以外でも食事会やスポーツをする機会をもうけている。
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	定期的に行われるスタッフ評価より、各スタッフの課題や今後の目標を交えアドバイスを行なっている。またスタッフの資格取得に向けた支援を行い取得後も本人に意向を重視した環境作りに努めている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	見学・相談に来られた際は、今の本人の思いや不安な事を含め直接御本人に聞く機会を取っている。		必要に応じ何度も足を運びお話しを伺い受けとめる努力をしている。
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	見学・相談に来られた際は、ご家族の不安や求められている事を理解し、受け止める努力をしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	御本人とご家族の立場に立ち可能な限り柔軟な対応を心掛け、場合によっては他事業所につながる等の対応をしている。		ケアマネージャーが他事業所と連携をとりその人にあった支援提供に結び付けられるよう努力している。
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	居室造りをご家族様と相談し、使い慣れた家具や小物を利用して頂き安心して安全に生活出来るよう又、徐々に環境の変化に馴染んで頂けるよう対応している。		スタッフは他の入居者様と御本人の間に入りコミュニケーションをはかったり、常に御本人の意思を尊重するよう努めている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	御本人の思いを常に聞き入れられるように努め人生の先輩として学び、支えあう関係作りにも努めている。		畑造りや料理・裁縫などスタッフがご利用者様と共に行い沢山の事を教えて頂ける機会をもうけている。
28	本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話連絡等で情報を共有し支援にあたっての協力同関係を作る様努めている。		入浴介助・外食・ホームの行事などに参加して頂いている。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	御本人・ご家族の思いを理解し、行事等の参加の呼びかけなど一緒に過ごせる時間をもうけたりとより良い関係が築ける様支援している。		遠方のご家族様などご本人の意思を尊重し電話などの支援をしている。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様が住み慣れた場所で花見を行ったりドライブ・買い物ツアーなどの時間設けたりと支援に努めている。		面会時に知人などが来られた際は、話が出来た環境を作っている。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者様同士の関係が円滑になる様、座席など配慮したり場合によっては居室移動(階を変える)をし、個別に話を聞いたり皆で楽しく過ごす時間を作っている。		日中は階を移動しレクリエーション活動に参加したりしている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去後、継続的な関わり合いが持てるようご家族に話すと共に地域との関わりを大切にしよう心掛けている。		ご家族様よりお手紙を頂いたりしている。
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	御本人の言葉や思いをくみ取りまた、ご家族に話しを聞いたりと希望・意向の把握に努めている。		個々のケアを大切にしている。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用時のアセスメントを入居後も随時行っている。又、ご家族と相談しながら馴染みやすい環境を整えている。		身体状況に合わせご家族と相談し生活環境を整えている。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	バイタルチェック・身体状態の把握・介護記録や日報にて情報共有している。		その時の状況に合わせ支援出来るようユニット会議などでスタッフが共有するよう努めている。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアマネージャーを中心に御本人・ご家族の意向を担当者会議にて検討し介護計画を作成している。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1度又、状態変化に合わせ見直しを行なっている。		状態変化がある場合、ご家族とカンファレンスを行い見直しを行なっている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録・食事・排泄・バイタルなど共有しやすいように一覧になっている。		ケアプランの課題を意識し記録に充実するよう努めている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	出来る限りその時々々の要望に応じた対応を心がけている。		訪問理容2ヶ月に1度・外食は御本人が好きなメニューの場所へ行けるように努めている。又、ご入居者様の希望時には出前の日などを提供したり、馴染みの店へ買い物などへ行っている。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	入居様が安心して生活出来るよう民生委員とは意見交換を行っている。又、ボランティアや中学校の職場体験などの支援をしている。		運営推進会議では民生委員との意見交換の場となっている。消防に関しては最低年2回避難訓練を実施、又救命講習会への参加にて連携を取っている。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	福祉用具は御本人・ご家族の要望で実施している。外出を定期的実施すると共にその中で今まで地域で触れたところへ行きサービスを活用している。		今後も個々の外出を1年計画で実施していく。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に地域包括支援センターの職員に参加して頂き協働を図っている。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医との連携体制も整っており2週間毎の往診、必要時には適切な医療を受けられるよう支援している。		御本人・ご家族の希望で今まで利用されていた病院や医師と関係が途切れないようにしている。

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>提携医による隔週での往診を実施、適切な指示を受けられる。</p>		<p>24時間連絡が取れる体制が整っており指示や助言をもらっている。</p>
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>訪問看護に毎週訪問して頂き、日頃の健康管理や相談・助言を頂き対応している。</p>		<p>24時間連絡が取れる体制が整っており指示や助言をもらっている。</p>
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院時には情報提供を十分に行い、頻繁にスタッフが見舞う様になっている。又、退院時には退院後の留意点や指示を医師と看護師から必ず聞く様努めている。</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>御本人・ご家族・管理者・スタッフ・提携医で十分に話し合いの場を持ちケースごとに方針を決定している。</p>		<p>管理者とスタッフがターミナルケアの研修に参加しホームでの勉強会を行なっている。</p>
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>御本人・ご家族・管理者・提携医で十分に話し合いの場を持ち、出来るだけ早い段階から支援体制を検討準備している。</p>		<p>ご家族と常に話し合い御本人がその人らしい穏やかな生活が出来るよう居室造りにも気を配っている。又、スタッフにも不安をあたえないよう終末期に向けたご利用者様の申し送りノートを作成している。</p>
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>御本人にとってより良い生活環境で暮らせる様、ケアマネジャーを中心に十分に情報提供を行っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報の取り扱いについて契約時に守秘義務について交わしている。</p>	<p>その時々で変化のある心身状態に合わせてながら、声掛けや対応をしている。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>出来るだけ御本人の希望を聞き支援していけるようにしている。</p>	<p>買い物ツアーを月2回行い、御本人が食べたい物を購入し食べたい時に提供している。</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人一人のペースを大切に、過ごしやすい環境作り無理のない支援をするよう努めている。</p>	<p>個々のレクを考え支援している。</p>
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>定期的に美容師に来て頂いている。1日おきに同じ服装をしないようご家族にも協力して頂きお洒落を支援している。</p>	<p>外出の際は外出用のお洒落を支援している。</p>
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>庭の畑でスタッフと一緒に収穫し、調理はスタッフが行っている。後片付けは本人から声を掛けて下さり、おぼん・食器拭きなど行なって頂いている。</p>	<p>ご利用者様から献立のリクエストがある際にはメニューに取り入れる。嫌いなメニューの時は代替品を用意している。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのお酒、飲み物、おやつ、たばこ等を一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>行事等で甘酒を用意したり、本人の訴えがある時はご家族に相談しお酒を楽しまれている。</p>	<p>週に1度、ヤクルトが来られ思い思いの物を購入している。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>排泄パターンを把握し、トイレ誘導する事でオムツや紙パンツの使用を減らすよう支援している。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>御本人の体調・意思を確認し御本人のお湯の温度・浴槽に入っている時間・コミュニケーションなど考慮しながら日中のみ入浴の支援を行っている。</p>		<p>夜間については、スタッフの体制上厳しい部分もあるが足浴などで対応している。</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>日中も夜間も御本人の休憩したい時に休めるよう支援している。</p>		<p>日中も昼寝の時間をもうけている為、御本人の意思を尊重している。</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>過去の仕事や役割を把握し、役割分担を行なっている。</p>		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物ツアーの際には、お金の支払いをスタッフと一緒にこなしている。</p>		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>買い物は、毎月日にちを決めて出かけている。散歩・ドライブは日常的に実施している。</p>		<p>ご家族様のご協力の元、外出する機会を支援している。</p>
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>御本人・ご家族から希望を聞き計画を立てて体調管理を行い実施している。</p>		<p>1年計画を立て、担当のスタッフと出かける機会を支援している。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話を使用されている方やプレゼントが届いた時など電話でお礼を言われたりお手紙を書いたりする機会をもうけている。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族様・知人・友人等が気軽に来て頂かる様都合の良い時間にいつでも訪ねて来て頂ける様配慮している。		居心地よく過ごせるよう玄関周りなど花を飾りリビングは落ち着ける空間を造るよう努めている。
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	スタッフ会議などで全体に周知・話し合いをし拘束のないケアに取り組んでいる。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ご家族に理解して頂き、時間を決めて鍵を掛けないケアに取り組んでいる。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	スタッフ間での声掛けを常に行い、個人のプライバシーと安全に十分配慮している。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者様一人一人の状態に合わせ配慮出来る様に、危険を防ぐ取り組みをしている。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	スタッフ全員が救命講習会の参加に取り組んでいる。事故が起らないよう事故報告書・ヒヤリハットを記録しその都度話し合いを行い事故防止に取り組んでいる。		ヒヤリハット・事故報告書についてファイルしユニット会議などで対応を考え又、事故に対してはご家族様にも相談しすぐに対応するよう努めている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急マニュアルを用意しホームでの勉強会を実施している。		救命救急の講習会に全員のスタッフが参加できるよう努めている。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回訓練を行なっている。		訓練時にはご家族様に見学の参加を呼びかけている。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ご家族様の面会時や面会に来られないご家族様には電話連絡等で対応策を検討している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調異変には、バイタルチェックを行いスタッフが1日2回の申し送りをし、リーダー・管理者に連絡するようにしている。		外出から戻られた時など環境が変わった時のバイタルチェックの徹底。
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診報告・受診ノートにてスタッフが把握できるようにしている。		薬の処方の変更になった際は、薬ケースにも記入するようにしている。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分量・適度な運動・乳成分を日々の中に取り入れるようにしている。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の歯みがきの声掛けを行い口腔状態を把握し必要な支援を心がけている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分の摂取については1ヶ月単位でわかりやすいように一覧にして記録をし情報の共有を図っている。		食事が少なくなった際には、体重の減少を医師に報告し対応している。また、水分摂取が出来ないご利用者様には寒天やゼリーなどの対応にも努めている。
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手洗い・うがいの徹底をはじめ感染症対策マニュアルを用意して予防と対策に努めている。		早期治療に努めご利用者様・ご家族様に同意を頂きスタッフと共にインフルエンザの予防接種を受けている。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	衛生管理の方法を決めて実施し、食中毒の予防に努めている。		毎食後食器を漂白している。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花やベンチを設置し親しみやすい環境作りをしている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関口は季節に合わせた花や飾り付けを工夫している。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング以外にも居心地の良い空間作りを心掛けている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様と相談しながら、御本人が生活しやすいよう環境作りに努めている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	天気・気候に配慮し換気・温度調節を行なっている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	御入居者様の状態に合わせ居室内の配置をし共同スペースではテーブル・椅子の配置を見直したりと安全確保に配慮している。		事故がおきた際には、かならずご家族様に相談し安心に過ごせるよう居室作りをしている。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人一人が出来るだけ自立して生活出来る様、適切な声掛けを行なっている。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベンチ等を配置したり、畑で野菜を栽培し草取りや水まきを行なっている。		天気の良い日は、ベンチを利用しおやつを食べたり自動販売機で飲み物を購入したりと支援している。行事等で庭でご家族と一緒に弁当を食べる機会をもうけている。

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、活き活きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

個々の希望にて外出を1年計画で実施している。

静かな環境の中、畑・花壇を多くつくる事で穏やかな生活環境が提供出来る。

又、スタッフが日々の業務の中で緊張感をもちながら楽しい仕事出来る環境づくり。